

# 京都市のごみ問題

---

G1: 秋田・田嶋・田中・中塚・湯浅

# 動機

---

## □ 京都のごみの現状は？

- 多くの綺麗な観光地がある京都だが、イメージどおりクリーンな町なのか

## □ ごみの有料化

- 京都市のごみの有料化は成功なのか？

# 現状

---

## □ ごみ処理先進都市

- 京都のごみ出しは「ごみ」「資源ごみ」「金属ごみ」の3区分。他所ではふつう、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」の区分がある。これは最新の設備が整っているからできる事である。

## □ ごみ意識後進都市

- 最新の処理施設があることで、京都市民はごみのことをほとんど意識せずに生活しているのではないか。

# 背景・原因

---

## □ ごみの区分

- 京都市のごみ区分は、「ごみ」「資源ごみ」「金属ごみ」
- 「燃やすごみ」「燃やさないごみ」の区分なし
- 「資源ごみ」は缶・びん・ペットボトルがいっしょ

## □ ごみ意識後進都市

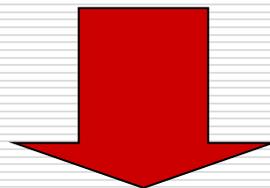
- 公害対策装置や資源自動分別装置が充実  
→市民はごみのことを意識しなくてもいい

# 背景・原因

---

## □ ごみの排出量

- 京都市の年間のごみ排出量: 約80万トン  
→ 4割人口の多い名古屋市よりも多い



市民のごみに対する意識の低さ

# 背景・原因

---

## □ 鴨川のごみ

- 2002～2005年に回収されたごみは、45ℓのごみ袋で約2500袋（ポリ袋・缶・ペットボトル・紙パック・トレイなど）
- タイヤ51個・毛布42枚・自転車41台も出てくる



環境汚染の原因に

# 家庭ごみ有料化

---

## □ 家庭ごみ有料化

- 平成18年10月からスタート
- ごみへの関心を高め、ごみ減量、  
分別・リサイクルを一層促進するためのきっかけ

# 家庭ごみ有料化

---

## □ 有料化による収入の活用

- 缶・ビン・ペットボトルのリサイクルの推進

- まちの美化活動支援

- 地球温暖化対策

- 使用済みてんぷら油の回収

# 容器包装プラスチック分別収集

---

- 平成19年10月スタート
- 分別→リサイクルすることで、天然資源である石油の使用量を減らす
- プラスチックの焼却量を減らすことで、温室効果ガスを出る量を減らす

# 京都市のゴミ問題（結果）

## □ 家庭ごみ

単位:t

	10～3月	4～9月	合計
06～07年	116,491	119,524	236,015
05～06年	136,461	146,169	282,630
対前年比	-19,970	-26,645	-46,615

## □ 持ち込みごみ

単位:t

	10～3月	4～9月	合計
06～07年	53,850	53,653	107,503
05～06年	53,553	57,006	110,559
対前年比	297	-3,353	-3,056

## □ 缶・ビン・ペットボトル

単位:t

	10～3月	4～9月	合計
06～07年	6,685	7,484	14,169
05～06年	8,438	9,484	17,922
対前年比	-1,753	-2,000	-3,753

## □ 以上の総量

単位:t

	10～3月	4～9月	合計
06～07年	177,026	180,661	357,687
05～06年	198,452	212,659	411,111
対前年比	-21,426	-31,998	-53,424

# 京都市のゴミ問題（結果）

## □ 導入後1年間で・・・

### ■ 家庭ごみ

→約16%減

### ■ 缶・ビン・ペットボトル

→約21%減

### ■ ごみ総量

→約8.3%減

## □ 予算

単位：千円

項目	20年度	19年度
有料指定袋導入	1,138,400	872,300
一般・資源ごみ収集	2,295,867	2,454,538

### ■ 一般会計との割合

● 指定袋制：約 6%

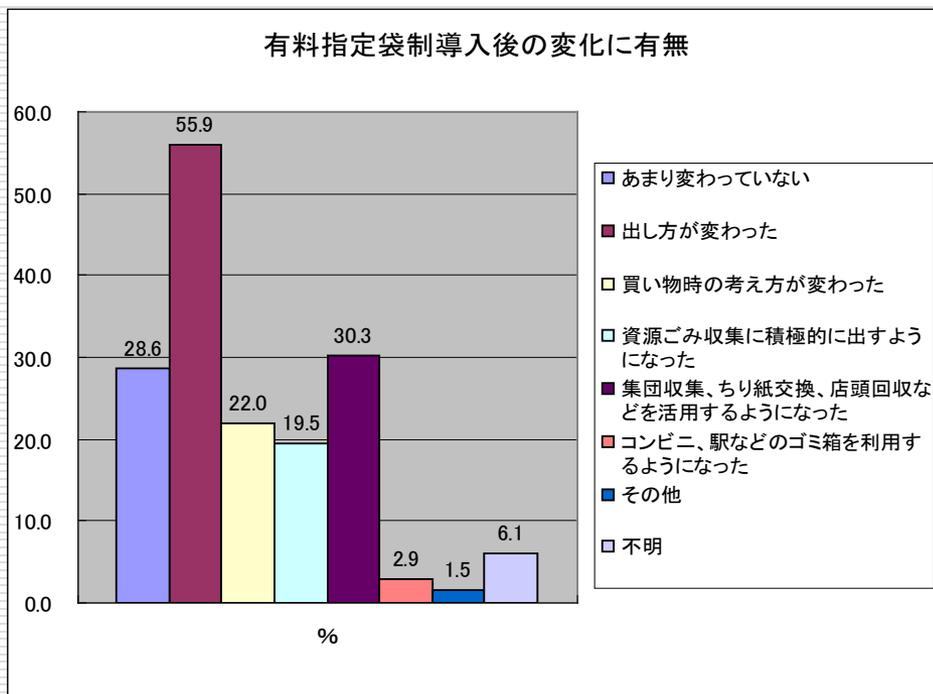
● ごみ収集：約12%

（平成20年度）

# 京都市のゴミ問題（結果）

## □ 市民のゴミの出し方の変化

※京都市環境局が翌年2月に実施したアンケート結果



資料は

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html>

より引用

# これからのこと

---

- 個人でできること
- 包装の少ないものを選んだり、マイバッグの持参
- 店頭にある牛乳パックやビンの回収BOXの利用  
→家庭ゴミの4割を占める生ゴミはどうするのか？

## これからのこと

---

□ 三角コーナーで水を切ったり、乾燥させたりする

→生ゴミの約7割が水分なのでかなりのゴミ減量

□ 電動式生ゴミ処理機やコンポスト容器の利用

→事前に申請すれば行政から補助金が出るなど敷居が低くなってきている

# これからのこと

---

## □ 行政が行うサービスの利用

「不用品リサイクル情報案内」やフリーマーケットの利用

→ 不要なものを必要としている人に譲ったり、  
譲ってもらったりすることができる



## REUSEの活用

参照URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000033/33947/herashikata.pdf>

# これからのこと

---

- 行政でもゴミを減量のために行っている活動があることを知り、個人がゴミ減量の明確な意識をもって分別やりサイクルを行っていくことが重要